

記録書 No.43

(2015 年 12 月 25 日～2016 年 01 月 14 日)

2016 年 01 月 18 日

乃村研究室 M1

藤田 将輝

0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項

- (1) メールを書く際は読み手のことを考える． [01/09, メール, 谷口先生]
- (2) メールを遡らなければ情報を取れないようなメールを書かない．常に完全な情報を提示する． [01/10, メール, 乃村先生]

1. 実績

1.1 研究関連

(1) 研究テーマに関する項目

- (A) 参考文献の読解 (50 % , +0 %)
- (B) バグの再現 (0 % , +0 %)
- (C) 第 136 回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会原稿執筆 (30 % , +20 %)
- (D) 第 136 回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会スライド作成 (10 % , +0 %)

(2) 開発に関する項目

- (A) 自動ビルドスクリプトの作成 (95 % , +0 %)

(3) 第 293 回 New 打ち合わせ (01/06)

1.2 研究室関連

- (1) 乃村研書初め (01/06)
- (2) FabGarage 見学 (01/08)
- (3) 乃村研ミーティング (01/13)

1.3 大学院関連

- (1) 進路説明会

2. 詳細および反省・感想

2.1 研究関連

- (1C) 第136回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会の原稿を執筆している。現在、参考文献を増やすため、論文を探している。具体的には、既に挙げている参考文献が参照している、されている文献から探している。概要を読み、参考になりそうな文献をいくつか発見できたため、これらの特徴や制限を読み、参考文献として掲載できそうかを判断する。

3. 今後の予定

3.1 研究関連

(1) 研究テーマに関する項目

- (A) 参考文献の読解 (1月中旬)
- (B) バグの再現 (2月上旬)
- (C) 第136回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会原稿執筆 (2月2日)
- (D) 第136回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会スライド作成 (2月29日)

(2) 開発に関する項目

- (A) 自動ビルドスクリプトの作成 (2月中旬)

(3) 第294回 New 打ち合わせ (01/20)

3.2 研究室関連

- (1) 乃村研ミーティング (02/05)
- (2) 乃村研円卓会議 (03/02)

3.3 大学院関連

- (1) 特になし

3.4 学会情報

- (1) 第136回システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会
開催日時：2016年2月29日(月)
開催場所：理化学研究所計算科学研究機構

申込締切：2016年1月12日(火)
原稿締め切り：2016年2月2日(火)